

地球環境に学ぶサークル

「地球環境に学ぶ」サークルが昨年6月に「環境宣言2021」を発表してから半年経過しました。サークルメンバーのその後の省エネ取組み状況や、新たな知見を併せてご紹介します。電気・ガス・水道の省エネ以外にも、身の回りに省エネ余地は多数あります。

1. 電力会社の切換え

・昨年8月のところざわ倶楽部アンケート調査では新電力への切換えはまだまだ低調でした。切換え手続きや会社選びに迷う方が多いと思われるが、電気料金の安さの宣伝に惑わされず、真に「地球に優しい電力会社」を選びたいものです。下記パワーシフト運営団体には新電力会社の比較、選び方、切替え手続き等が掲載されており、ご参考まで。・・・<https://power-shift.org/>

2. 自動車の省エネ

・燃費の良いハイブリット車(20-25km/l)や軽自動車(20km/l前後)に乗り替えて燃費を改善した。ガソリン価格高騰の折、環境と家計に優しい改善。なお自動車税も、普通車3.6万円/年に対し軽は1.08万円/年とお得。
・車の運転免許を返納し自転車利用している。返納するとコロボス1年間無料の特典もあり。



3. 太陽熱温水器利用

・太陽光発電ばかり注目が集まっているが、太陽熱温水器はエネルギー効率や設置費を比較すると太陽光発電より遥かに経済的でお勧め。ガス代が1/2との試算もあり。

	太陽熱温水器	太陽光発電
エネルギー効率	40~60%	7~18%
設置費(住宅用)	30~90万円	150~180万円

(資源エネルギー庁 HP より)

4. 洗濯やトイレの節水

・風呂の残り湯で洗濯し、すすぎは2回から1回に減らす等、こまめに節水を心掛けている。
・洗濯はまとめ洗いが省エネ。洗濯容量の4割で2回に分けて洗う場合と、8割入れて1回にまとめた場合を比較すると、まとめ洗いの方が、年間水道16.8m³節水(4,360円

節約:資源エネルギー庁 HP より)

・最新型の TOTO 便器に交換した。ネット購入し DIY 交換のため廃棄費、壁紙、床シート含め5万円程度で完成。排水量は10l→5l/回に半減した。

5. 台所のごみ削減

・プラスチック容器やペットボトル等のプラごみを、購入したスーパーの集積箱へ返却している。
・生ごみをリサイクルしている。契約農家が定期回収し堆肥化している。燃やすごみが半分以下に減少できた。
・生ごみ減量化のために、コンポスト(2千円程度～)購入検討中。所沢市から購入費の2/3補助あり。



6. 冷暖房の省エネ

・ストーブやエアコンは足元が寒いので、扇風機やサーキュレーターを併用して上に溜まった暖気を効率良く循環させている。
・ファンヒーター温風を専用パイプ(ホームセンターで約2000円)で炬燵に取込んでいる。電気代は大幅削減。
・プラスチック段ボールで窓ガラスを断熱した。縦190cm×横90cm×厚4mmで800円程度。断熱ガラス窓や内窓取付よりはるかに安価。プラ段は透明・半透明も選べる。
・風呂が冷める前に家族が早く入浴して省ガスしている。
・風呂を沸かさずシャワーを利用して省ガス、省水している。

7. その他の節電

・電気炊飯器の保温をやめた。また電気圧力なべを購入して時短、省エネすることも検討中。
・トイレの便座に柔らかいシートカバーを付けた。暖房便座の電気を切っても全く冷たくない。
・魔法瓶型のコーヒーマーカーに替えた。保温電力がゼロ。